

松一小理科実験教室

12月3日(月)に松山第一小学校6年生の児童66人を招いて理科教室が行われました。

児童たちは、物理、化学、生物、地学の4分野に分かれてそれぞれ実験に取り組み、理科系部活動の生徒たちがアシスタントとしてサポートに入りました。

地学分野ではコハクを磨いてその中に閉じ込められた虫の化石を探しました。生物分野ではホタルが発光するのと同じ仕組みを利用して酵素の働きについて学びました。化学分野では紫キャベツの色素を使って水溶液の酸性、中性、アルカリ性について学び、紫キャベツの色素液を使ってスライムを作ったり、pHの違いを利用してメスシリンダーの中に虹色を作りました。物理分野では偏光板を使って光の性質を学びました。偏光板ですり抜けBOXを作成したり偏光板にセロテープを貼って色が変わる実験をしました。また、物理部が取り組んでいるライトレースロボットを披露しました。



山車ロボットコンテスト 2018 に物理部が参加

11月11日(日)にウエスタ川越で行われた「かわごえ産業フェスタ」の会場で、東洋大学が主催する「川越まつり山車ロボットコンテスト 2018」が開催されました。この大会は、川越まつりの山車を模した、自分たちで作ったオリジナルのロボットをコースで走らせて演技し、得点を競う大会です。26名の高校生が参加し、本校からは物理部1, 2年生の3チームが参加しました。物理部Dチームの「幽霊船号」が最優秀芸術賞を受賞しました。



大学見学(筑波大学)



11月14日(水)に理数科2年生が、筑波大学と最先端のロボット技術に触れることが出来るサイバーダイナミクススタジオを訪問しました。

筑波大学では模擬授業を受講し、高度な研究施設や図書館の見学をしました。また松高OBから、大学生活の自由と責任について話があり、積極的な質問が出ました。サイバーダイナミクススタジオでは、実際に介護ロボットの体験をしてきました。

サイエンスフェアで化学部が実験教室

11月18日(日)大宮ソニックシティで開催された「高校生によるサイエンスフェア」に化学部が参加してきました。昨年に引き続き「新スライム」に蓄光材を入れ、昼と夜の色の違いを楽しんでもらえるようにしました。午前中は、高校生を中心とした来客に、休む間もなく実験を続けました。また、他校のブースに参加したり、ポスター発表で積極的に質問するなど交流を深めました。午後になると小学生の参加者も多くなり、丁寧な説明を心がけました。

